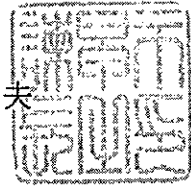


20 諫道建第114号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

諫早市長 吉次 邦夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記について、
別紙のとおり回答しますのでよろしくお願いします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県諫早市

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、その整備に対する住民要望は非常に強いものがある。

本市は長崎県の中央部に位置し、古くから交通の要衝として発展してきたが、道路の整備状況は未だ十分とはいえず、そのため幹線道路網の整備をはじめとして、通学路など市民に身近な道路についても、歩道改良など交通安全施設を整備し、老朽化が進んだ橋りょうの改修も計画的に進めるなど、安全・安心なまちづくりに努めているところである。

よって、国におかれては、公共交通機関が整っている大都市と整備が遅れている地方では、道路整備に対する住民の意識に違いがあることを十分に認識し、地方にとって真に必要な道路整備が遅れることのないよう、下記事項について強く要望する。

- 1 活力ある地域づくりのため、住民が真に必要なとしている道路整備を計画的に推進し、効果的かつ効率的に住民の期待する道路整備が実現できるよう、住民の声や実情に十分配慮すること。
- 2 地域の実情に柔軟に対応するため、今後も地方団体の財政力に応じた交付率の引き上げなどを含んだ、自由度の高い交付金制度を継続すること。
- 3 道路特定財源の一般財源化にあたっては、納税者の意見を十分に踏まえた上で結論を得るとともに、財源配分のあり方や各地方団体への影響を十分に検証し、必要な道路整備財源を安定的に確保すること。

○現状 1 本市は、県央部に位置し、国道・県道など交通結節点となっているが、朝夕には主要交差点で慢性的な交通渋滞が発生しており、その早期整備が望まれている。 また、幹線道路に接続する道路や地域の生活道路の整備など生活の利便性の向上を図る道路施策が求められている。 2 本市での交通事故は、死亡者数は減少又は横ばい状況であるが、交通事故件数と負傷者数は大きく増加しており、特に高齢者による運転の事故や高齢者が被害者となる事故、夜間の事故等が増加している。	○課題 ① 一般国道57号森山拡幅や一般国道34号、一般国道207号、一般国道251号などを中軸とする「広域幹線道路網」の整備促進 ② 平成6年12月に計画路線の指定を受けた地域高規格道路「島原道路」の早期整備 ③ 一般国道34号本野入口交差点の改良や県道諫早外環状線の整備など「道路交通円滑化」の推進 ④ 有明海沿岸地域の高速交通ネットワークの形成と沿岸地域の一体的発展を図る「諫早・鹿島間地域高規格道路の早期整備」 ⑤ 幹線道路と集落の連結や地域間の一体化、交通利便の向上を図る「市道道路改良整備事業」 ⑥ 経年変化により劣化した橋りょう塗装など維持管理費が今後増大することが確実であるため、維持管理費の助成制度の創設 ⑦ 歩道や交通安全施設の整備促進、地域毎の交通安全総点検など、「歩行者に優しい道づくり」
---	--

②-2 地域の目指すべき将来像

長崎県諫早市

- 1 国道、県道を中心に形成されている本市の広域幹線道路網の拡幅整備と交差点改良を推進するとともに、都市内交通の緩和を図る環状道路網の整備を促進する。また、地域活力や生活利便性を高める市道路網の整備と維持管理の推進を図る。
- 2 本市の交通事故は、事故件数・死亡者数・負傷者数とも他自治体と比べ多い状況にあり、交通安全意識の徹底や道路交通安全施設の整備など、交通安全対策を推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

長崎県諫早市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・広域幹線道路網の整備促進	・地域高規格道路の早期整備	・主要都市間の時間が短縮され、地域の交流が促進される ・生活圏の拡大により物流販路の増大 ・緊急医療活動のスピード化 ・災害時の緊急輸送路の確保	
・地域間のネットワークづくりに必要な道路の確保	・地域の発展に必要不可欠な市道の整備 ・深刻な高齢化に対応するための道路のメンテナンス	・特色ある地域の伝統文化の継承 ・新たな財源確保によりスピーディーな維持補修を行い、事故を未然に防ぐ	
・安全で安心できる暮らしの確保	・安全・安心な歩行区間、走行区間の確保 ・少子高齢化の時代に即した歩道空間の確保	・交通事故の減少 ・バイリアフリー化率の向上 ・視距の確保	